

【5 貿易動向】

(1) 佐賀県の貿易概況

佐賀県（平成28年）
輸出2,532億円
輸入471億円

平成28年の佐賀県の貿易は、輸出が対前年増加率5.3%減の2,532億円、輸入は対前年増加率14.1%増の471億円となり、輸出入合計額は対前年増加率2.7%減の3,002億円と減少した。

(図2-1-18)

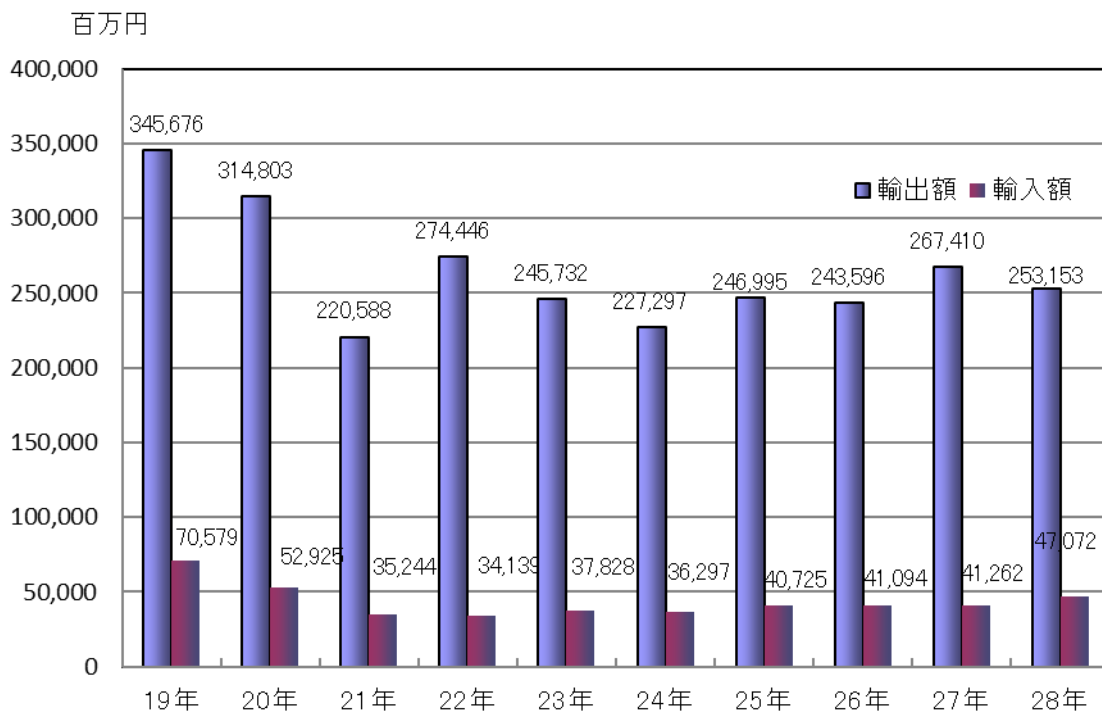
輸出では、全輸出企業数の10.7%の大企業が輸出額全体の87.9%を占めている。また、県内に本社を置く企業は全輸出企業数の79.8%を占めているが、輸出額は302億円と、輸出額全体の11.9%にすぎず、県外に本社を置く大企業主導となっている。

輸入では、全輸入企業数の90.4%を占める中小企業が輸入額全体の66.1%を占めている。また、県内に本社を置く企業の輸入額は257億円と輸入額全体の54.7%を占め、県外に本社を置く企業の輸入額は213億円と輸入額全体の45.3%である。

また、県内の貿易港の通関額では、伊万里港が対前年増加率0.8%減の1,219億円、唐津港が対前年増加率15.3%減の140億円となっている。(図2-1-19)

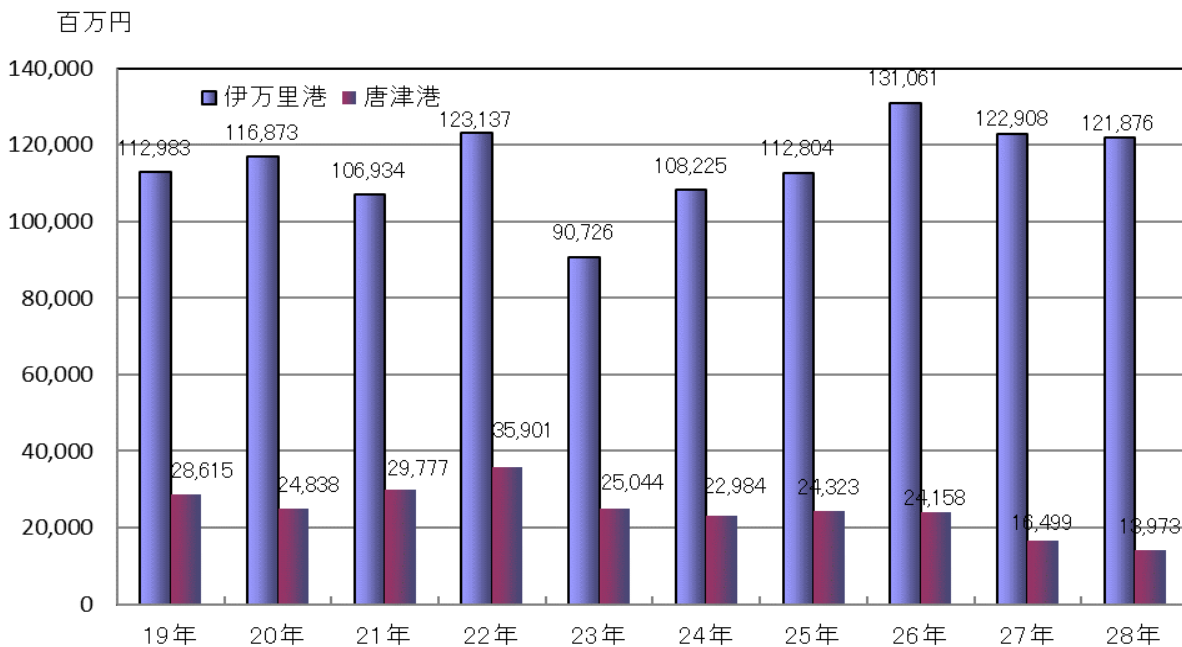
貿易港の利用状況では、伊万里港においては、輸出額のうち89.0%が船舶で、輸入額のうち17.4%が家具となっている。唐津港においては、輸出額のうち79.6%が鉄鋼のくずで、輸入額のうち84.0%が液化石油ガスとなっており、伊万里・唐津港とも、特定の品目の割合が高くなっている。

■輸出入額の推移（図2-1-18）



資料：佐賀県貿易協会「2016年佐賀県貿易白書」

■港別通関額の推移（図2-1-19）



資料：佐賀県貿易協会「2016年佐賀県貿易白書」

(2)輸出概況

仕向地別では、アジア向けが金属加工製品を中心に52.1%と、本県最大の輸出地域となっている。次いで、北米向けが金属加工製品を中心に14.8%、西欧向けが石油・ゴム製品を中心に13.7%となっている。

輸出品目別では、金属加工製品が35.3%、船舶・その他が26.7%、電気・電子機器が16.3%の順となっている。(図2-1-20～21)

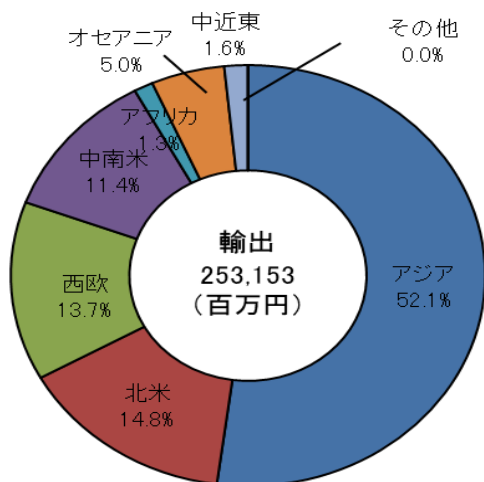
(3)輸入概況

仕入地別では、北米からが農水産物を中心に42.9%と、本県最大の輸入地域となっている。次いで、アジアからが金属加工製品を中心に39.5%、中南米からが農水産物を中心に8.1%となっている。

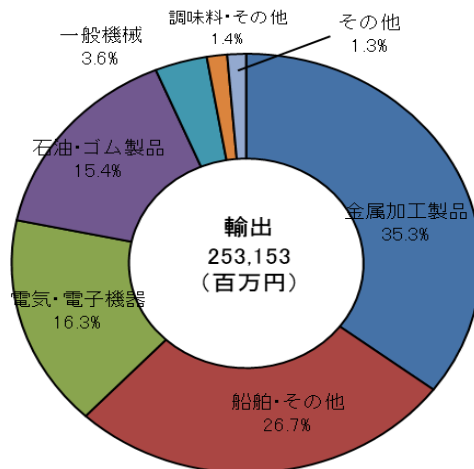
輸入品目別では、農水産物が37.0%、化学・医療品が25.7%、金属加工製品が13.9%の順となっている。(図2-1-22～23)

■品目別、地域別の輸出入の状況(2016年、佐賀県)

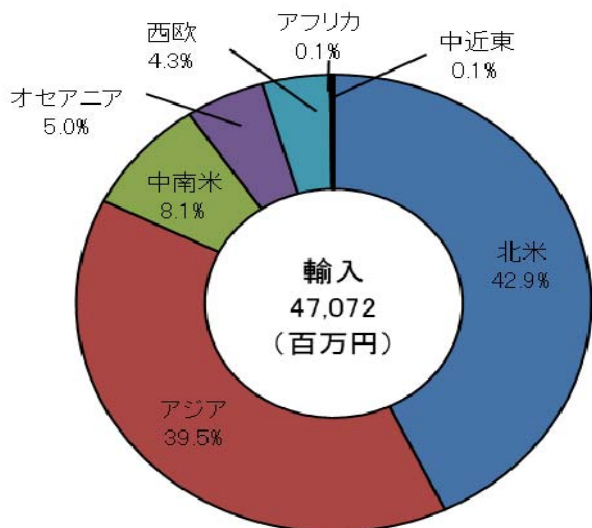
《輸出・地域別》(図2-1-20)



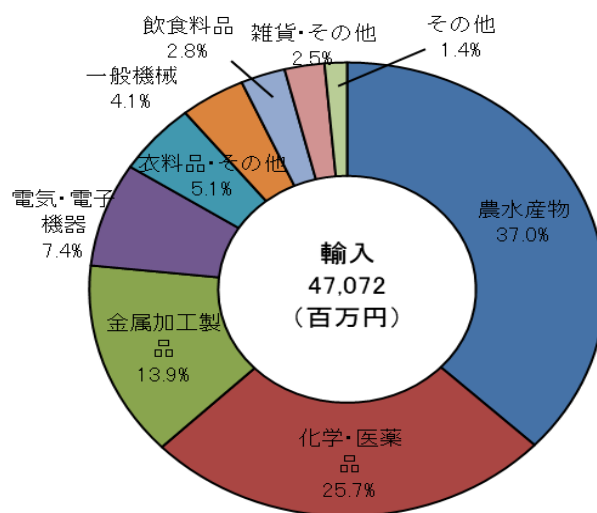
《輸出・品目別》(図2-1-21)



《輸入・地域別》(図2-1-22)



《輸入・品目別》(図2-1-23)



資料:佐賀県貿易協会「2016年佐賀県貿易白書」 ※端数処理のため、合計が100とはならない。

資料:佐賀県貿易協会「2016年佐賀県貿易白書」